



2019年3月27日

各位

会社名 株式会社オープンドア
 代表者名 代表取締役社長 関根 大介
 (コード: 3926、東証一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 秀明
 (TEL. 03-5545-7215)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月27日の取締役会決議により、2018年5月11日に開示した2019年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	4,800 ～5,000	1,300 ～1,600	1,300 ～1,600	780 ～960	25.18 ～30.99
今回修正予想 (B)	4,970	1,670	1,670	1,035	33.40
増減額 (B-A)	△30 ～170	70 ～370	70 ～370	75 ～255	
増減率 (%)	△0.6% ～3.5%	4.4% ～28.5%	4.4% ～28.5%	7.8% ～32.7%	
(参考) 前期連結実績 (2018年3月期)	4,009	1,155	1,163	756	24.44

2. 修正の理由

2019年3月期において、当社は、CM等により認知率37%以上を目指すことを最重要戦略としております。今期のテレビCMは、投資効果を見極めながら実施することを想定し、広告予算としては10億～15億円の範囲で柔軟に調整する計画としておりました。このようにCM実施費用が変動することから、2018年5月11日開示の通期業績予想では、売上高及び各段階利益をレンジ形式にて設定しておりました。

こうした中、当社は、2018年9月時点で認知率37.9%に到達し、通期目標であった認知率37%を6カ月前倒しで達成いたしました。認知率向上等の効果もあり、売上高及び各段階利益は通期業績予想に対して順調に推移しております。加えて、当初10億～15億円と幅をもたせていたCM実施費用は、第4四半期において概ね確定いたしました。

以上のことから、2019年3月期の通期業績予想を上記1のとおり、連結売上高においては予想レンジの上限に近い水準に、各段階利益については予想レンジの上限を上回る水準に修正することといたしました。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上